

テーマ：『 学校周辺の自然環境を活用した環境教育への全校的な取り組み 』

横浜市立 矢部小学校

Tel. 045-871-3408 担 当 木村 功

者：



#### ■実践内容：

- 1：みんなが自然に触れたり、公園で遊んだりする谷戸矢部池をどうしたいかを話し合う。  
「きれいにしたい」「花でいっぱいになりたい」「もっと遊び遊具を増やしたい」
- 2：「花でいっぱいになりたい」をうけ、種蒔きをする。
  - ①給食時に飲んだ牛乳パック200mlを乾燥させ、底に2つ穴をあける。
  - ②1辺4cmの網を牛乳パックの底に敷く。
  - ③牛乳パックに8分目まで肥料の入った土を入れる。
  - ④牛乳パックの土に水をまき、ぬらす。
  - ⑤濡れた土に人差し指の第1関節の深さに穴をあけ、種を5つずつ蒔く。
  - ⑥軽く土をかける。
- 3：教室の棚でグループごとに苗作りをする。土が乾いたら水をやる。
- 4：6月30日の戸塚区役所土木課の方や地域の方々の手伝って頂きプランターに苗を植えた。

#### ■実践成果：

2年生は「谷矢部池公園を花でいっぱいの学校・谷矢部池公園にしよう」に参加して、種の形や発芽の様子など植物の生長を観察することで生命の力強さや大切さを子どもたちは知ることができた。また、生命の不思議に興味をもった。いつも遊んでいる公園や校庭に咲く草花のことに興味をもち、花の色や形・香りから名前を調べたり、道ばたに咲いている草花にも優しく接したり姿が見られる。それは、プランターに苗を植える時、大切に育てたマリーゴールドの苗をそっと土の上へのせ、やさしく土をかける様子から見ても、子どもたちの思いが伝わってくる。そして、自分の育てた花が、公園に来る人たちを和ませたり、喜ばせたりできることで、自分たちがまちの役に立っていることに達成感を感じたようである。

#### ■実践ポイント：

マリーゴールドを育てる学習を通して、「先生、今度は何の種を蒔く？」「今度はどこに植えようか？」と子どもたちは意欲満々だ。9月。生活科でマリーゴールドや夏野菜を育てた経験をもとに、地域の方から「谷矢部池公園」内にある畑を借りて大根の種を蒔いた。子どもたちは、世話をして大きく育て収穫することを楽しみにしている。